

事前評価日 平成28年5月23日

No. 6031 06

基 本 事 項	事務事業名	水道料金徴収事業			所管部署名	水道課 庶務係				
	事業期間	昭和32年度 ~ 未設定	事業年齢	59歳	事前評価責任者	増田 典道	連絡先	048 - 982 - 7711		
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務		根拠法令等	水道法・同法施行規則・吉川市水道給水条例				
	事務事業の性質	毎年繰り返し			執行方法	全部委託	水道料金等徴収業務委託			
	基 本 の 計 画 関 係	関連付け	<input type="checkbox"/> 有	<input checked="" type="checkbox"/> 無	歳 出 予 算 科 目	事業名	配水及び給水費			
		まちづくり目標				会計区分	水道企業会計			
		施策				款 項	水道事業費用	営業費用		
		施策小項目				目	配水及び給水費			
	第3期実施計画の位置付け	<input type="checkbox"/> 有	<input checked="" type="checkbox"/> 無		前年度の事務事業 有無・事務事業番号	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	603106			
	事 目	対 象 (誰を、何を)	水道使用者			手 段 (どのような事業 を行うのか)	水道水使用量を基に、料金計算を行い使用者に請求し、料金を徴収する ・納付書による収納者(金融機関、窓口及びコンビニ)に対し 年1回口座振替申請書送付 ・口座振替による収納			
対象年齢			00	99	全年齢					
意 図 (対象にどのような状態に なしてほしいのか)		<ul style="list-style-type: none"> 水道料金の納付率を向上させる 自主納付の向上 口座振替の推進を図る 			事務事業を取巻く 環境の変化・実 施上の課題	<ul style="list-style-type: none"> 水道事業を安定的に経営するためには、水道料金収入を確保することが重要である。しかしながら、節水機器の普及などにより料金収入は伸び悩んでいる傾向である。そのため水道料金の確実な収納が課題である。 				
類似事業	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無									
業務プロセス(No.・名称)	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	60310603	水道料金賦課徴収業務		60310602	下水道使用料に関する委託業務				

区分	区 分	平成26年度	平成27年度	平成28年度			平成29年度	平成30年度	
		決算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算(千円)	増減額(千円)	当初(千円)	計画(千円)	
投 入 コ ス ト	① 直接事業費	72,931	73,480	75,822	74,075	596	75,533	75,533	
	② 人 件 費		8,010	7,959	7,895	7,014	-944	7,014	7,014
		正職員直接投入人員		0.89人	0.82人	0.71人	-0.11 人	0.71人	0.71人
		正職員間接投入人員		0.08人	0.16人	0.14人	-0.02 人	0.14人	0.14人
	③ 間 接 経 費 (加算)								
④ コスト対象外 (除外)									
⑤ トータルコスト計(①+②+③-④)	80,941	81,438	83,717	81,090	-349	82,547	82,547		
資 源	⑥ 国庫支出金								
	国補助率								
	⑦ 県支出金								
	県補助率								
	⑧ 市 債								
⑨ そ の 他									
⑩ 受益者負担額(使用料・手数料等)									
受益者負担率(⑩÷⑤)									
C 吉川市年間負担経費(A-B)	80,941	81,438	83,717	81,090	-349	82,547	82,547		
D 補助・単 独 区 分	<input type="checkbox"/> 全額補助 <input type="checkbox"/> 一部補助 <input type="checkbox"/> 補助事業の上乗せ・横出しあり			<input checked="" type="checkbox"/> 吉川市単独					

目 区分	指 標 名 (上段)	単 位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
			目標(見込)値 実績値	目標(見込)値 実績値	目標(見込)値 実績値	計画(見込)値	計画(見込)値
対 象 指 標	① 水道料金調定額	千円	1,248,000	1,201,000	1,202,000	1,203,000	1,204,000
	一人当たり使用水量に応じた増加または減少		1,237,885	1,254,164	1,243,658		
②	給水世帯数(4月1日世帯数-井戸世帯5戸)	世帯	27,107	27,787	28,857	29,419	29,967
	使用世帯の増加または減少		27,785	28,482	29,037		
活 動 指 標	① 金融機関口座振替依頼件数割合(2月分例月集計より)	%	75.00	74.21	74.10	74.10	74.10
	水道料金調定件数に対する口座振替件数		74.21	74.10	73.88		
②	水道料金調定件数	件	165,900	170,050	173,100	176,500	179,800
	2か月に1回の調定件数		166,798	171,297	173,735		
成 果 指 標	① 現年度分水道料金収納率	%	97.79	97.93	97.68	97.68	97.68
	収納金額/調定金額(2月分までの収納状況)		97.93	97.68	97.69		
	② 過年度分水道料金収納率	%	99.83	99.85	99.86	99.86	99.86
	収納金額/調定金額(3月分までの収納状況)		99.85	99.86	99.85		

業	区分	評価指標名(上段) / 指標の性質(下段)		平成26年度	平成27年度	平成28年度	成果・効率性向上度のポジション	
		活動結果	② 水道料金調定件数	増加することが良いとされる指標	100.54%	100.73%		100.37%
成果結果	① 現年度分水道料金収納率	増加することが良いとされる指標	★★★★★ 達成された	★★★★★ 達成された	★★★★★ 達成された			
績	結果	単位	トータルコスト × 1,000円	単位	平成27年度	平成28年度	小 効率性向上度 大	
		② 水道料金調定件数	円/件	475	467	↑		
評	主	単位当たり経費変動率(当該年度単位コスト÷前年度単位コスト)÷前年度単位コスト)					-1.83%	コストが若干減少している
		・給水停止 停止予告通知発送1,519件、停止通知1,675件、停止執行260件 ・訪問徴収 2,064調定、10,488,432円徴収(うち夜間集金 36日、262調定、1,326,190円収納) ・中止者催告状発送 674件 ・効率性については、この事業に対するコストの増加よりも水道料金調定件数の増加により、1件当たりのコストが減少したものと考えられる。						
価	取							
組	組							

官	公共性		実施主体の妥当性		行政関与の妥当性	受益者負担の妥当性
	民	より多くの市民に提供され、しかも日常生活に必要不可欠なサービス	政策的意思決定を必要とし、かつ行政上の専門知識を必要とするサービス	高		
役						
割						
分						
担						
評						
価						

事	区分	評価		評価判断理由(特記事項)
		妥当性	役割分担	
業	対象・手段	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討		
	意図	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討		
評	有効性	成果向上の余地	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	・受益者負担の原則に基づき水道料金を徴収するものであり、自主納付の推進を図りながら収納率の向上に努める。
		上位施策への貢献度	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	
価	効率性	コスト改善の余地	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	・H19年度から全面的に徴収業務の委託を実施しているが、さらに料金徴収業務に関する経費の見直しを検討する。徴収率の向上が、経営の安定化に寄与する部分が大きいため、徴収率のさらなる向上を目指すことで、コストの改善が図られる。
		受益者負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	

改	これまでの改善(検討)状況とその内容	<input checked="" type="checkbox"/> 改善実施済 <input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 改善未実施
		・閉鎖栓業務、検針業務、月例処理、納付書作成・発送、料金徴収業務等を以前から民間業者に委託しているが、平成19年度より、未納者整理、滞納者給水停止、誓約者徴収業務などの一連の水道料金徴収業務についても委託した。
改善	課題と今後の改善策	・節水機器の普及やスーパーでの浄水の無料配布、ペットボトル飲料水の購入等により、1人当たりの使用水量が低下している現状であるが、今後の水道事業経営状況や排水受水費の動向を見ながら、受益者負担の適正化に向けて料金の見直しを検討する。

事	今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了
	「改善のうえで継続」の場合の展開方針	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善) <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 効率化
業	「今後の方針」の説明(計画内容等)	

一	一次評価日	平成29年5月19日	一次評価責任者	山口 剛介
二	今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了		
	「改善のうえで継続」の場合の展開方針	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善) <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 効率化		
次	説明	(一次評価者と二次評価者が同一のため、評価は同じになります。)		

二	二次評価日	平成29年5月19日
---	-------	------------